



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 東京インキ株式会社
コード番号 4635 URL <http://www.tokyoink.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 淳男
問合せ先責任者 (役職名) 管理部門理財部長 (氏名) 佐藤 健二

TEL 03-5902-7652

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	34,865	△0.5	271	△25.7	382	△18.6	327	△84.7
23年3月期第3四半期	35,041	△1.8	365	△19.0	470	△18.2	2,137	977.7

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 55百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 1,644百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	12.10	—
23年3月期第3四半期	78.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	45,959	18,379	39.5	670.14
23年3月期	44,521	18,486	41.0	674.03

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 18,148百万円 23年3月期 18,254百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,200	△0.9	480	15.8	550	3.6	350	△81.6	12.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	27,257,587 株	23年3月期	27,257,587 株
24年3月期3Q	176,411 株	23年3月期	174,798 株
24年3月期3Q	27,082,273 株	23年3月期3Q	27,085,329 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響が継続する中で、円高の長期化、欧州の債務危機、10月に発生したタイの洪水により経済活動に大きな影響を与え、景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは原材料価格の高騰に対応した価格改定やあらゆるコストの削減に引き続き努めてまいりましたが、事業環境は厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が348億6千5百万円で前年同四半期比1億7千5百万円の減収（0.5%減）となり、営業利益は2億7千1百万円で前年同四半期比9千4百万円の減益（25.7%減）、経常利益は3億8千2百万円で前年同四半期比8千7百万円の減益（18.6%減）、四半期純利益は3億2千7百万円で固定資産の売却による特別利益が発生した前年同四半期に比べ大幅な減益となり、18億9百万円の減益（84.7%減）となりました。

次にセグメント別に概況をご報告いたします。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更の影響を含めております。

(インキ事業部門)

オフセットインキは、市場の縮小化が継続する中、あらゆるコストダウンと原材料価格の高騰に対応した販売価格の改定に努めてまいりましたが、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

グラビアインキは、食品包材等向けが健闘し、数量および売上高は前年同四半期並みとなりました。

印刷用材料は、オフセットインキと同様に市場の縮小化が継続する中、売上維持につとめ、売上高は前年同四半期並みとなりました。

印刷機械は、新分野向けの機器が寄与し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

この結果、インキ事業部門の売上高は126億1千7百万円となり前年同四半期比1億2千8百万円の増収（1.0%増）、セグメント利益は2千8百万円で前年同四半期比2億5百万円の減益（87.9%減）となりました。

(化成品事業部門)

合成樹脂用着色剤は、東日本大震災やタイでの洪水の影響もあり、自動車用途が減少いたしました。その他用途が堅調に推移し、数量および売上高は前年同四半期並みとなりました。

合成樹脂成形材料は、自動車用途向けの受託は回復基調ですが、その他用途の受注が落ち込み、数量および売上高は前年同四半期に比べ若干減少いたしました。

この結果、化成品事業部門の売上高は162億4千3百万円となり前年同四半期比2億6千9百万円の減収（1.6%減）、セグメント利益は11億2千万円で前年同四半期比1億5百万円の減益（8.6%減）となりました。

(加工品事業部門)

工業材料は、新規用途の製品は順調に推移いたしました。水処理用途の受注が大幅に減少し、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

包装材料は、好・不況が混在し、売上高は前年同四半期並みとなりました。

仕入商品は、売上高は前年同四半期並みとなりました。

この結果、加工品事業部門の売上高は57億7千3百万円となり前年同四半期比1億3千6百万円の減収（2.3%減）、セグメント利益は8千9百万円で前年同四半期比3千3百万円の減益（27.4%減）となりました。

(不動産賃貸事業部門)

不動産賃貸事業部門の売上高は2億3千万円となり前年同四半期比1億2百万円の増収（80.3%増）、セグメント利益は1億2千万円で前年同四半期比3千9百万円の増益（49.0%増）となりました。

これは、前第2四半期連結会計期間より不動産による賃貸収入が発生したことによるものです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は459億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億3千7百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加2億7千8百万円、受取手形及び売掛金の増加9億8千万円及びたな卸資産の増加8億8千2百万円等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は275億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億4千5百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加23億3千2百万円と短期借入金の増加7億6百万円、賞与引当金の減少3億3千4百万円及び長期借入金の減少10億1千7百万円等によるものです。

(純資産)

純資産の部は183億7千9百万円となり前連結会計年度末に比べ1億7百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加1億6千4百万円及びその他の包括利益累計額の減少2億7千1百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想に関しましては、今後の経済情勢等が不透明であることから、現時点においては前回発表数値(平成23年5月13日発表)に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,602	1,881
受取手形及び売掛金	16,491	17,471
商品及び製品	3,481	3,995
仕掛品	1,673	1,737
原材料及び貯蔵品	1,467	1,771
繰延税金資産	177	178
その他	309	157
貸倒引当金	△141	△48
流動資産合計	25,061	27,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,052	7,878
機械装置及び運搬具（純額）	3,281	2,813
工具、器具及び備品（純額）	134	102
土地	3,710	3,710
リース資産（純額）	324	307
建設仮勘定	3	257
有形固定資産合計	15,506	15,070
無形固定資産		
リース資産	29	22
その他	79	62
無形固定資産合計	109	84
投資その他の資産		
投資有価証券	3,542	3,292
繰延税金資産	109	119
その他	462	610
貸倒引当金	△270	△363
投資その他の資産合計	3,843	3,659
固定資産合計	19,459	18,813
資産合計	44,521	45,959

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,228	13,561
短期借入金	4,366	5,072
1年内返済予定の長期借入金	1,657	1,432
リース債務	103	114
未払法人税等	109	29
賞与引当金	452	118
未払消費税等	50	123
未払費用	816	887
その他	564	712
流動負債合計	19,351	22,052
固定負債		
長期借入金	3,300	2,282
リース債務	269	233
繰延税金負債	259	201
退職給付引当金	2,490	2,412
役員退職慰労引当金	242	238
その他	121	158
固定負債合計	6,683	5,527
負債合計	26,034	27,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,246	3,246
資本剰余金	2,511	2,511
利益剰余金	13,029	13,194
自己株式	△47	△47
株主資本合計	18,739	18,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△317	△565
為替換算調整勘定	△168	△190
その他の包括利益累計額合計	△485	△756
少数株主持分	232	231
純資産合計	18,486	18,379
負債純資産合計	44,521	45,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	35,041	34,865
売上原価	29,872	30,160
売上総利益	5,169	4,705
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,250	1,188
賞与	407	376
福利厚生費	261	258
減価償却費	276	239
貸倒引当金繰入額	100	29
貸倒損失	—	53
賞与引当金繰入額	52	47
退職給付引当金繰入額	120	163
役員退職慰労引当金繰入額	18	12
通信交通費	272	234
荷造及び発送費	893	840
その他	1,148	989
販売費及び一般管理費合計	4,803	4,433
営業利益	365	271
営業外収益		
受取利息	12	8
受取配当金	112	118
出資分配金	34	40
保険解約返戻金	3	0
その他	47	30
営業外収益合計	211	198
営業外費用		
支払利息	82	64
為替差損	10	—
その他	14	23
営業外費用合計	106	87
経常利益	470	382
特別利益		
固定資産売却益	3,377	0
保険差益	41	24
特別利益合計	3,419	25
特別損失		
固定資産除売却損	22	44
投資有価証券評価損	60	12
ゴルフ会員権評価損	5	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13	—
災害による損失	42	23
その他	—	16
特別損失合計	144	97
税金等調整前四半期純利益	3,745	310
法人税、住民税及び事業税	49	59
法人税等調整額	1,554	△75
法人税等合計	1,604	△16
少数株主損益調整前四半期純利益	2,140	327
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3	△0
四半期純利益	2,137	327

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,140	327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△455	△248
為替換算調整勘定	△39	△22
その他の包括利益合計	△495	△271
四半期包括利益	1,644	55
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,641	56
少数株主に係る四半期包括利益	2	△0

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	インキ 事業部門	化成品 事業部門	加工品 事業部門	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	12,488	16,513	5,910	34,913	127	35,041
セグメント間の内部売上高又は振替高	35	38	14	88	—	88
計	12,524	16,551	5,925	35,001	127	35,129
セグメント利益	233	1,225	123	1,582	80	1,663

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差額調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,582
「その他」の区分の利益	80
全社費用(注)	△1,297
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	365

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ 事業部門	化成品 事業部門	加工品 事業部門	不動産賃貸 事業部門	計	
売上高						
外部顧客への売上高	12,617	16,243	5,773	230	34,865	34,865
セグメント間の内部売上高又は振替高	32	29	7	—	68	68
計	12,650	16,272	5,781	230	34,934	34,934
セグメント利益	28	1,120	89	120	1,358	1,358

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差額調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,358
全社費用（注）	△1,084
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	271

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において「その他」に含まれていた「不動産賃貸事業」については、重要性が増したことから報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、この変更に伴う四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報に与える影響は以下の通りであります。

変更前の方法によった場合に比べ、不動産賃貸事業部門の売上高が2億3千万円、セグメント利益が1億2千万円それぞれ増加し、報告セグメント合計の売上高及びセグメント利益がそれぞれ同額だけ増加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。